

オンライン シニア 災害ボランティア シンポジウム

受講
無料

配信期間

1月21日^金 9:00 ~ 2月3日^木 17:00

プログラム

演題 1 令和における
災害ボランティアの在り方

講師 あつみ ともひで
渥美 公秀 氏 / 大阪大学大学院
人間科学研究科 教授

演題 2 災害時での情報活用に
求められるもの

講師 はたやま みちのり
畑山 満則 氏 / 京都大学
防災研究所 教授

参加方法

STEP ① 参加申込

以下のURLまたはQRコードから
お申し込みください。



URL

<https://bit.ly/3FDOnra>

STEP ② 案内メール

お申し込み時に入力
いただいたメールアドレスに
講演配信ページの
URLをお送りします。

STEP ③ 視聴

配信期間になりましたら
配信ページのURLに
アクセスし、ご視聴ください。

参加申込締切

1月20日^木 17:00 まで

主催 一般財団法人 地域社会ライフプラン協会

※このシンポジウムは、自治宝くじの市町村振興事業として、一般財団法人全国市町村振興協会の助成金を活用して開催しています。

オンライン

シニア災害ボランティア シンポジウム

非常用

防災

開催趣旨

(一財)地域社会ライフプラン協会では、東日本大震災を受けて平成24年度から「シニア災害ボランティアシンポジウム」を開催しています。

大規模災害における復旧・復興の一翼を担う人材として、公務員や民間会社を退職したいわゆるシニア層に活躍してもらうため、地方公共団体と当協会が共催し、今までに50回開催しました。

近年、大規模災害の発生は未だ後を絶たない状況下、これまで各地方公共団体が抱えるその土地特有の課題を踏まえつつ、多様なテーマのもと、大学生やボランティア、学識経験者などの多彩な講師と活発な意見交換を行うことで、地域の防災を担う人材として、退職者等のポテンシャルを、広く地域

に還元していくことを支援してきました。

そして今年度は東日本大震災から10年の節目を迎え、これまでの実績と成果を活かしながら、今後の地域における防災活動の強化について認識を深めることを目的として、オンラインによる講演を行うことといたしました。

新型コロナウイルスの感染防止のため遠方からの被災地への支援が難しく、避難所運営においては、これまで以上に地域内での助け合いが求められています。今後の災害への向き合い方、新しい時代の地域防災力の強化について、より一層復興の担い手となるシニア層の防災活動の一助となるよう、「シニア災害ボランティアシンポジウム」を開催します。

講師プロフィール

演題1

あつみ ともひで
渥美 公秀



大阪大学大学院
人間科学研究科 教授

昭和36年大阪府生まれ。昭和60年大阪大学人間科学部卒業。その後、フルブライト奨学金によりミシガン大学大学院に留学、平成5年博士号(Ph.D.心理学)取得修了。同年大阪大学大学院人間科学研究科博士課程単位取得修了。神戸大学文学部助教授、大阪大学大学院人間科学研究科助教授などを経て、平成22年大阪大学大学院人間科学研究科教授に就任。平成30年より同研究科附属未来共創センター副センター長。

自宅のあった西宮市で阪神・淡路大震災に遭い、ボランティア活動に参加。これをきっかけに災害ボランティア活動の研究と実践を続けている。

認定特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク理事長のほか、日本グループ・ダイナミクス学会、日本災害復興学会、日本自然災害学会などの役員を務め、多くの社会活動を行っている。

著書に、『災害ボランティア』(単著、平成26年、弘文堂)、『ボランティアの知』(単著、平成13年、大阪大学出版会)、『地震イソモノート』(監修、平成19年、木楽舎・ポブラ社)などがある。

演題2

はたやま みちのり
畑山 満則



京都大学
防災研究所 教授

ICTを活用した防災、災害対応についての研究に従事。神戸市長田区役所(阪神・淡路大震災)、内閣府、栃木県那須烏山市役所(東日本大震災)、熊本県庁(熊本地震)において行政の災害対応支援を、宮城県亘理町FMおおぞら(東日本大震災)、倉敷市災害ボランティアセンター(平成30年7月豪雨)で民間現地支援活動をサポートし、これらの知見を活用した総合減災システムの開発研究を行っている。

また、平常時にも高知県黒潮町、京都市山科区などでICTを積極的に活用した地域コミュニティでの避難計画作成支援活動を行っている。

お問い合わせ

シニア災害ボランティアシンポジウム 運営事務局

TEL 03-6892-6636 FAX 03-6892-6931

E-Mail r03-seminarjimukyoku@gyosei.co.jp

申込はこちら

